

丹沢ボラネット瓦版

2018年12月号 No.101



丹沢山塊の核心部・檜洞丸、蛭ヶ岳、丹沢山(塔ノ岳より望む)

平成30年度丹沢大山ボランティアネット講演会



↑写真 講演会の様子

講師紹介 坂本 堅五先生

公益財団 日本鳥類保護連盟 専門委員 元調査室長等々
センターのミニ観察会の講師やその他観察会の指導員として活躍されている。

1 丹沢講演会の流れ

- (1) 世話人会代表挨拶
- (2) 講演(室内)
- (3) 野外実習
センター野外観察園
- (4) 講演(観察会のまとめ)
アンケート記入など
- (5) 閉会

2 坂本先生のお話

- (1) 野鳥観察のポイント
見分け方のこつ

ポイント1 大きさの目安。
知っている鳥(物差し鳥)
と比較してみる。
例 キジバト33cm基準
物差しと比較する。

ポイント2 決まった飛び方覚える。波状(ヒヨドリ等) まっすぐ(スズメ等)

ポイント3 種類による歩き方を覚える。ホッピング ウォーキングなど

ポイント4 止まり方 種類による特徴がある。斜め止まり
水平止まり 垂直止まり

ポイント5 特徴有る動作 種類により動作に特徴があるので覚える。例 ハクセキレイは尾の振り方、カワセミのくちばしの振り方等々



↑写真 探鳥会ポスター



↑写真 坂本先生の講演の様子

ポイント6 その他種類による微妙な見分け方があります。
オス、メスの見分け方 白サギの見分け方 などなど

ポイント7 無き声 種類により特徴が有る。自分なりに言葉にする。

ポイント8 季節と環境を知る。

- ① いつ観察したか？(夏だったか？冬だったか？)
- ② どんな環境だったか？(山の中だったか、水辺だったか？)



①②二つを考えるだけで、その場所にいる鳥が限定される。

夏には冬鳥を考えなくても良く、林の中では水鳥のことを考えなくても良いです。

←写真 出発前の講師紹介等の様子



3 野外野鳥観察へ

A、B、二班に分かれそれぞれ講師の先生が付きました。簡単な観察注意が有りいよいよ出発です。

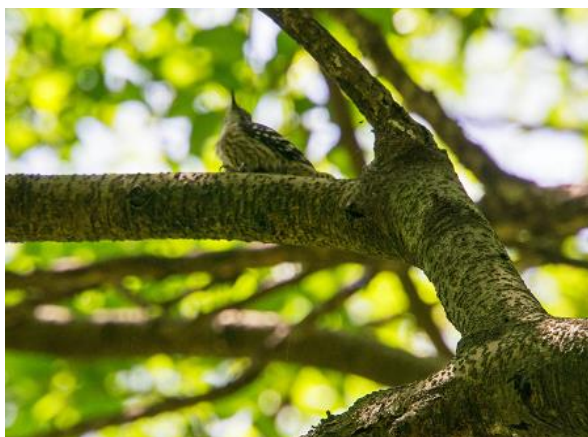
←写真 自然観察園池周辺探鳥

季節的に新緑が有り葉の間に野鳥がいるので姿を観察するのは大変です。静かに静かに野鳥のさえずに耳を傾けます。

野鳥の鳴き声で野鳥を見分けることが出来るようになったら上級者です。

←写真 コゲラ

やっとコゲラの姿を見つけ写真を撮りました。上向きや下向きになりちよろちよろ動きますね。



4 観察結果のまとめ

目視○ 地鳴きC さえずりS 上空飛行F

- 1 カワセミ○ 2 コゲラ○ 3 アオゲラC 4 ハシボソカラス○
5 ハシブトカラス○ 6 ヤマガラC 7 シジュウカラ○ 8 ツバメ○
9 イワツバメ○ 10 ヒヨドリ○ 11 ウグイスF 12 メジロ○S
13 キビタキS 14 スズメ○ 15 カワラヒワ○S 16 ホオジロS
17 アオジ○S 18 ガビチョウ○S 19 ソウシチョウC

以上19種類が確認されました。

ただ、あくまでも野外実習のまとめなので、鳴き声など人により一致しなく不確定な部分もあります。
ご承知を御願います。

今回は新緑まっただ中での観察であったので、初心者には、鳴き声確認、目視確認が難しいところがありました。
冬場に於いても探鳥実習をしたいとの要望がありました。

平成30年度丹沢大山ボランティアネットワーク講演会アンケート集計結果

① この講演会のテーマはいかがでしたか？

| | |
|---------|----|
| 非常に良かった | 12 |
| 良かった | 17 |
| 普通 | 1 |
| 悪かった | 0 |
| 非常に悪かった | 0 |

② 講演会の内容についてはいかがでしたか？

| | |
|-------------|----|
| よく理解できた | 12 |
| 理解できた | 15 |
| 普通 | 3 |
| あまり理解できなかった | 0 |
| 全く理解できなかった | 0 |

③ 今後、講演会で取り上げてほしいテーマがありましたら、ご記入ください。

- ・ 野生動物について
- ・ 野草、昆虫
- ・ 冬鳥、チョウ、トンボ
- ・ とても勉強になりました。カラーで分かりやすい資料ありがとうございました。
講習の時間に音声で、より予習（歩く前に）できると嬉しいです。
- ・ 時間が少ないのでゆっくりしてほしい。
- ・ 季節ごとに実施していただきたいと思います。
フィールドサインの見分け方、鳥の好む木の実、生き物のつながりとても勉強になりました。
ありがとうございました。
- ・ 動く鳥類と同走するのは困難で鳴き声では難しいので
どうしたらよく観察できるかもっと教えてもらう機会があればよい。
葉が繁って鳴き声だけで同走できるようになりたい、場数が足りないと痛感しました。
- ・ バードウォッチングでしたら早朝のキノコやコケなどの環境について。
樹木ウォッチング。
- ・ 野生での鳥や動物たちの姿を見る機会、現在の環境の中での状況や変化などをまた教えていただけるとありがたいです。
- ・ 菌類、このことについて
- ・ 樹木園の木々のうち何種類か代表を選んで解説をしていただきたい。
- ・ 草原、草地について
- ・ タカなどを観察してみたい
- ・ 草花、食べられる野草など
- ・ 樹木や草花の見方
- ・ 冬鳥観察
- ・ ①ガビチョウは4月初めから三光鳥の鳴き声をまねて鳴く。
昨年記憶したことでしょうか。
三光鳥が来る前に予告するように。
- ・ ②オオバンが最近、急増している。何故か。

- ・ ①水生生物観察
- ・ ②植物、昆虫全てを入れて目の前にあるものを多面的に観察したり説明を。

- ・ 外来種の与える影響等が、在来種とどうかかわっているか。
- ・ 季節を変えて野鳥観察、探鳥会

丹沢大山ボランティアネットワーク団体の行事予定等

神奈川県自然保護協会では2月7日から11日の期間、さがみ自然フォーラムを開催します。参加団体の募集もしております。詳しくは次ページ以降をご覧ください。

第 18 回さがみ自然フォーラム開催要領

1 目 的

本フォーラムは、生物多様性や里地呈出をはじめとする自然環境の重要性を共有するとともに、行政と市民等の協働の取組を普及拡大することを目的として、県内で生物多様性の保全に関わる活動や調査研究を行っている団体等の活動報告及び啓発のための講演会を実施する。

2 主 催

厚木市・NPO 法人神奈川県自然保護協会

3 実施主体

さがみ自然フォーラム運営委員会

4 後 援 (予定)

神奈川県、神奈川県教育委員会、厚木市教育委員会、国連生物多様性の 10 年日本委員会、(公財) 日本自然保護協会、(公財) かながわトラストみどり財団、桂川・相模川流域協議会、丹沢大山自然再生委員会 他

5 日 時

平成 31 年 2 月 7 日 (木) から 2 月 11 日 (月・祝) まで
10:00 ~ 18:00 (最終日は 17:00 まで)

6 会 場

アミューあつぎ (厚木市中町 2-12-15)

7 内 容

全体テーマ「豊かな自然の保全・再生」

(1) 展示部門（アミューあつぎ 5 階 あつぎアートギャラリー1～4）

日時：2月7日（木）～11日（月）、10：00～18：00

ア 企画展「生態系の再生」

イ 幼稚園・保育園等の自然体験活動

ウ 小学校の環境活動

エ 大学・高校の調査研究

オ 県内自然保護団体の活動

カ 自治体や企業の生物多様性保全活動

(2) 講演会（アミューあつぎ 7 階 アミュースタジオ）

日時：2月9日（土）13：30～15：30

○スケジュール

| 時 間 | 内 容 |
|-------|---|
| 13:30 | 開会・主催者あいさつ |
| 13:45 | 講演会 |
| 15:15 | ・テーマ：「生態系の再生」 ・講 師：日本獣医生命科学大学教授 羽山 伸一 氏 |
| | 質疑応答 |
| 15:30 | 閉会 |

(3) 活動発表（アミューあつぎ 7 階 アミュースタジオ）

ア 高校の活動発表、大学の研究発表

日時：2月10日（日） 13：00～16：00

イ 幼稚園、保育園、小学校、市民団体などの活動発表

日時：2月11日（月・祝）13：00～16：00

8 広 報

広報あつぎ（1/15号）、市ホームページ、ポスター、チラシ、
関係者宛案内

第18回さがみ自然フォーラム レジюме作成要領

下記要領でWord文書を作成し、事務局宛（電子メール：nacs-kana-office01@eco-kana.org）に送ってください。団体紹介（必須）と研究発表等（任意）を分けて作成して下さい。

（提出締切 12月31日）

●団体紹介 入稿フォーマット（必須）

| | |
|----------|---|
| 団体名 | NPO 法人〇〇〇、(株)〇〇〇 □□部、課など。 |
| 代表者名 | 代表〇〇〇、会長〇〇〇など。 |
| 本文 | 団体紹介、活動紹介など。 文字数は400字まで。 フォント、サイズは主催者側で決定します。 |
| 写真・イラスト等 | 2枚まで。（掲載は原則1枚です） ファイル形式はJPG、PNGなど。容量は800MBまで。 画像にはキャプション（説明）を短く添えてください。 |

●研究発表 入稿フォーマット（任意）

| | |
|----------|--|
| 発表タイトル | |
| 発表者名 | 肩書き、共同研究者名など。 |
| 本文 | 研究紹介、活動報告など。 文字数は400字まで。 自然再生に関する研究・活動があれば、特に見出しを付けて記述してください。 フォント、サイズは主催者側で決定します。 参考文献、引用文献などあれば明記してください。 |
| 写真・イラスト等 | 2枚まで。（掲載は原則1枚です） ファイル形式はJPG、PNGなど。容量は800MBまで。 画像にはキャプション（説明）を短く添えてください。 顕微鏡写真などは天地を明記してください。 |

第18回さがみ自然フォーラム 参加シート

参加を希望される方は、ご記入の上、事務局宛（電子メール：nacs-kana-office01@eco-kana.org または FAX：046-222-2356）
にお申し込みください。（申込締切 12月31日）

| | | |
|--------------|---------|---|
| 団体名または組織名 | | |
| 代表者または担当者 | | |
| 連絡先 | 住所 | 〒 |
| | 電話番号 | |
| | メールアドレス | |
| ホームページ等の URL | | |

参加内容（希望する項目に○を記入してください）

| 展 示 | | |
|-----------------------------|------------|----------|
| 展示スペース (1単位 3メートル) | 1 単位希望 | 1/2 単位希望 |
| 配布物の有無 | あり (種類程度) | なし |
| 立体展示物 | あり | なし |
| ポスターセッション (ステージ発表と両方は不可) | 希望する | 希望しない |
| 電 源 | 必要 | 不要 |

| ステージ発表 | 希望する | 希望しない |
|-----------|--|-------|
| 発表者名 (予定) | | |
| 注意事項 | 発表用のパソコン(アナログ RGB D-Sub15 ピン搭載)はご用意ください。 プロジェクタ、スクリーンは主催者側で用意します。 | |

その他 要望事項などありましたらご記入ください



生物多様性あつぎ戦略推進事業
第18回 さがみ自然フォーラム
 — 豊かな自然の保全・再生 —

「生態系の再生」

平成31年 **2月7日(木)~11日(月・祝)**

会場/アミューあつぎ

入場無料

展 示

【会場】アミューあつぎ 5F
あつぎアートギャラリー

【日時】2月7日(木)~11日(月・祝)
10:00~18:00
(2月11日は17:00まで)

- 企画展
「生態系の再生」
- 小中学校の自然体験活動
- 高校、大学の調査研究
- 県内自然保護団体の活動
- 自治体や企業の
生物多様性保全活動 など

講 演 会

【会場】アミューあつぎ 5F
ルーム502&503

【日時】2月9日(土)
13:30~15:30

- 講演
テーマ:「生態系の再生」
講師:日本獣医生命科学大学
教授 羽山 伸一氏

活動発表

【会場】アミューあつぎ 5F
ルーム502&503

【日時】2月10日(日)
13:00~16:00

- 高校の活動発表、
大学の研究発表

【日時】2月11日(月・祝)
13:00~16:00

- 幼稚園、保育園、小中学校
市民団体などの活動発表

スケジュール

| | 2/7(木) | 2/8(金) | 2/9(土) | 2/10(日) | 2/11(月) |
|---------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 展 示 | ● | ● | ● | ● | ● |
| 講 演 会 | | | ● | | |
| 活 動 発 表 | | | | ● | ● |

■問合せ 厚木市環境政策課
TEL046-225-2746

●主催/厚木市・NPO法人神奈川県自然保護協会 ●実施主体/さがみ自然フォーラム運営委員会
 ●後援/神奈川県、神奈川県教育委員会、厚木市教育委員会、国連生物多様性の10年日本委員会(申請中)、
 (公財)日本自然保護協会、(公財)かながわトラストみどり財団、桂川・相模川流域協議会、丹沢大山自然再生委員会

丹沢ボラネット瓦版2018年12月号(通巻101号)12月15日発行
丹沢 大山ボランティアネットワーク世話人会代表 小林 昭五